

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
[手続き書類のご請求方法]	音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6412/6412.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

■お知らせ

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式等の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関(証券会社等)を経由してお届いただいております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から抽選で10名様に「キャッツ・アイ オリジナルタオル」を進呈させていただきます。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6412

いいかぶ

検索



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも アクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

HEIWA BUSINESS REPORT 2012



第44期 年次報告書

2011.04.01~2012.03.31

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループの第44期(2011年4月1日～2012年3月31日)の事業の概況と決算についてご報告いたします。



代表取締役社長 **嶺井 勝也**

Profile

- 1991年3月 (株)オリンピア取締役
- 1993年7月 (株)オリンピア常務取締役
- 1994年7月 (株)オリンピア専務取締役
- 2003年6月 (株)オリンピア代表取締役副社長
- 2005年5月 (株)オリンピア代表取締役社長
- 2007年6月 当社代表取締役副社長
(株)オリンピア取締役(非常勤)(現任)
- 2012年1月 PGMホールディングス(株)社外取締役(現任)
- 6月 当社代表取締役社長(就任)

社長就任のご挨拶

2012年6月28日付で、代表取締役社長に就任いたしました嶺井勝也でございます。

レジャー産業を取り巻く環境は、長引く景気の低迷や、不透明感による消費者のレジャーに対する節約志向の高まりから、余暇市場規模は縮小傾向にあり厳しい環境が続いております。このように社会や経済の環境が大きく変化しているなか、社長の重責を担うことになり、身の引き締まる思いがしております。

遊技機事業においては、引き続き開発体制の強化を図り、的確に市場環境の変化を見極めながら、お客様に支持される遊技機の開発に努めてまいります。これらの製品を継続的に市場へ提供することで、製品に対する信頼性及びブランド力の向上を図り、さらなる販売シェアの拡大を目指してまいります。

また、2012年3月期においては、新たな収益基盤の構築を目指して、国内最大級のゴルフ場保有・運営会社であるPGMホールディングス(株)を連結子会社化し、ゴルフ事業へ進出いたしました。

今後は、中核事業である遊技機事業に加えて、ゴルフ事業を新たな収益の柱と位置づけ、総合レジャー企業の実現を目指してさらなる収益基盤の強化、企業価値の向上を図り、平和グループの発展に全力を尽くしてまいります。

01

当期の事業環境はいかがでしたか？

遊技機業界におきましては、東日本大震災の影響によりパチンコホールの集客や稼働が一時的に落ち込んだものの、その後は早い段階で震災前の水準に回復しております。2012年4月に警察庁より発表された資料によれば、2011年12月末時点でのパチンコホール数は、前年比1.3%減少し12,323店舗と減少傾向が継続しているものの、倒産件数が過去10年間で最少を記録するなど減少幅は縮小しております。また、遊技機設置台数は、前年比0.6%増加し4,582千台となり、パチスロ機の人気回復を背景に前年に引き続き増加いたしました。

遊技機の販売動向におきましては、パチンコ機は下降トレンドにあり市場全体の販売台数は低調に推移いたしました。パチスロ機はパチンコホールの新台入替需要の回復により、市場全体の販売台数は堅調に推移いたしました。

02

当期の業績についてはいかがでしょうか？

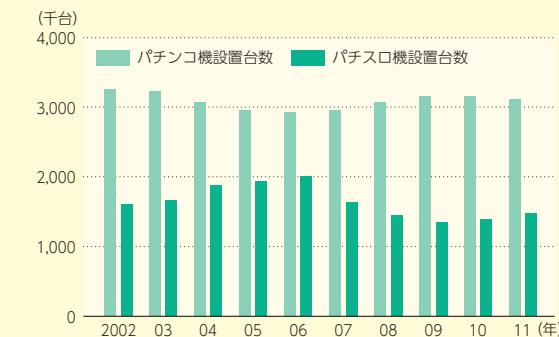
そのような環境の中、当社グループは、エンドユーザーのニーズを先取りした新規性・新機能を搭載した遊技機の開発を推進するとともに、リユースの促進及び部材調達コストの低減に取り組んでまいりました。

グラフ1 パチンコ店舗数と1店舗当たりの設置台数



出所：警察庁 ※遊技機設置台数はアレンジボール・じゃん球を含む。

グラフ2 遊技機設置台数



また、新たな収益基盤の構築と企業価値のさらなる向上を目的として、2011年12月5日付で、ゴルフ場の保有・運営を主たる事業とするPGMホールディングス(株)の株式80.49%を公開買付けにより取得し、ゴルフ事業に進出いたしました。

その結果、当期の業績は、売上高95,120百万円、営業利益20,741百万円、経常利益28,282百万円、当期純利益20,516百万円となり、前期に引き続き増収増益を達成いたしました。

(注)PGMホールディングス(株)の連結子会社化は、みなし取得日を2011年12月31日としているため、当期の当社グループの業績には、同社及び同社の連結子会社の2012年1月1日から2012年3月31日までの業績を反映しております。

03

株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

2013年3月期の業績におきましては、売上高166,900百万円、営業利益33,800百万円、経常利益35,700百万円、当期純利益23,300百万円を見込んでおります。

遊技機事業におきましては、販売シェアのさらなる拡大を実現するために、市場のトレンド変化に迅速に対応できる開発体制を構築し、多様な出玉性能、ゲーム性等を兼ね備えたエンターテインメント性の高い遊技機を継続的に市場へ提供することで、パチンコ機20万台、パチスロ機9万台の販売を見込んでおります。

ゴルフ事業におきましては、全ゴルフ場で共通の質の高いサービスの提供を行うとともに、ゴルフ場が顧客サービスに専念できる運営体制を構築し、顧客ロイヤルティの向上とゴルフ場オペレーションの効率化を推進してまいります。

当期の期末配当におきましては、1株につき25円の普通配当に、記念配当として10円を加えた35円(年間60円)とさせていただきます。次期の配当につきましては、1株につき60円(うち中間配当30円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (予想)	前期比
売上高	95,120	166,900	75.5%増
営業利益	20,741	33,800	63.0%増
経常利益	28,282	35,700	26.2%増
当期純利益	20,516	23,300	13.6%増





PGMホールディングスのご紹介

PGMグループは、全国120以上のゴルフ場を保有・運営するゴルフ場運営・再生ビジネスのマーケットリーダーです。

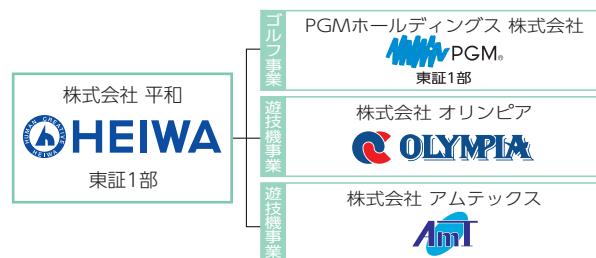
PGMグループは、日本最大級のゴルフ場保有・運営会社です。全国120以上のゴルフ場運営のほか、ゴルフ場取得時に継承した、霊園、ホテル、高速道路のサービスエリア内レストラン・売店等の事業を展開。2001年にゴルフ場の取得・運営事業を開始して以来、ゴルフ場の個性と地域性を活かした再生ビジネスで事業を拡大し、ゴルフ場運営のエキスパートとして、マーケットを牽引しています。お客様の視点に立ったサービスを追求し、ゴルフ場の成長を一層高めることで、長期的に安定した収益基盤を構築するとともに、ホスピタリティ事業分野でのグローバルリーダーを目指しています。

会社概要

名称	PGMホールディングス 株式会社 (東証1部:2466)
所在地	東京都港区高輪一丁目3番13号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 神田 有宏
資本金	127億1,200万円 (2012年3月31日現在)
設立年月日	2004年12月9日

グループ相関図

総合レジャー企業を目指す平和グループの一員として、日本のゴルフ業界を牽引していきます。



財務ハイライト

(単位:百万円)

	2009年 12月期	2010年 12月期	2011年 12月期
営業収益	82,335	79,519	70,758
営業利益	12,914	11,552	7,224
経常利益	10,486	7,846	4,932
当期純利益	8,633	15,297	2,273

PGMグループが運営する全国に広がるゴルフ場ネットワーク

北海道



桂ゴルフ倶楽部

東北



利府ゴルフ倶楽部

関東



美浦ゴルフ倶楽部



中部



花の木ゴルフクラブ

近畿



関西空港ゴルフ倶楽部

中国



たけべの森ゴルフ倶楽部

四国



土佐山田ゴルフ倶楽部

九州・沖縄



若木ゴルフ倶楽部

Pickup

約50年の歴史を誇る名門「総武カントリークラブ 総武コース」



1964年に開場した「総武カントリークラブ 総武コース」は、数々の名門コースの設計を手がけた名匠・富澤誠造氏の代表作品です。

「太平洋クラブマスターズ」、「サントリーオープン」等、日本ゴルフ史に残る数々のビッグトーナメントが開催され、国内・海外のトッププレイヤーによる幾多の名勝負の舞台となりました。

2013年5月(開催期間:5月16日~19日、予備日 20日)には、社団法人日本プロゴルフ協会が主催する「第81回 日本プロゴルフ選手権大会」の開催が予定されています。

開発スタッフ座談会

ルパン一味を愛するスタッフが結集し、 こだわりを詰め込んだ『ルパン三世 World is mine』

約15年にわたって、多くのファンの心をつかんで離さないパチンコ「ルパン三世」シリーズ。この「ルパン三世」シリーズの最新機種『ルパン三世 World is mine』が約2年の開発期間を経てホールに登場しました。

今回はこの『ルパン三世 World is mine』の開発スタッフに集まっていただき、開発時のエピソードを語っていただきました。

 幅広いファンの方々に楽しんでいただけるパチンコ機を目指して

— 開発にあたり、どんな思いをもっていましたか？

上野 ● 「ルパン三世」シリーズは、性別、世代を問わず幅広いファンの方々にご支持いただいています。パチンコ機として6作目を迎えるにあたり、本作では「ルパン三世ファンはもちろん、パチンコファンの皆様にも納得していただけるものを目指そう」と目標を掲げ、開発をスタートしました。

富岡 ● ルパン三世ファンの期待にもしっかりと応えつつ、パチンコファンにも長く遊技してもらえる、そんなパチンコ機をつくりたかったです。開発のポイントになったのは大当たり継続時の演出ですね。どうすれば大当たり時にもっと楽しんでもらえる

プロジェクトリーダー
上野 晃裕

企画担当
富岡 弘

ゲージ担当
亀井 堅二郎

映像企画担当
村上 学

のかをスタッフで議論し、最終的には大当たり継続中にストーリーが次々と進行する形を採用しました。

村上 ● 実は開発スタッフは、ほとんどが前作『ルパン三世～徳川の秘宝を追い～』を手がけたメンバーなんです。気心の知れたメンバーと一緒に、前作を超えることはもちろん、他機種にも負けないものをつくりたかったんです。

亀井 ● 私は本作で初めてスタッフとして参加しました。入社以来ずっと「一度はルパン三世シリーズを手がけてみたい」と思っていたので、このプロジェクトが立ち上がったとき、自らスタッフに立候補したんです。人気シリーズということでプレッシャーもありましたが、夢がかなってうれしかったですね。

上野 ● 今回の開発は社内のスタッフが中心となって行ったので、気になる部分はすぐに顔を見ながら話ができる環境にあったのがよかったですね。プロジェクトリーダーとして無茶なお願いもしやすかった(笑)。

— 開発時に力を注いだ部分はどこですか？

上野 ● 人気シリーズだからこそパチンコ市場にアンテナを張り巡らせて、ファンのニーズに合ったものをつくらなければなりません。しかし、近年のパチンコのトレンド変遷は非常に早いため、大当たり確率など仕様の決定は慎重に行いました。

富岡 ● つまり、それぞれに思い入れがあるだけに、仕様がなかなか決まらなかったということです(笑)。仕様が変わればやり直す箇所も増えていって……。でも、前作よりも二段も三段も上を目指していたので、苦労とは感じなかったですけどね。

亀井 ● 本作は約2,000発の出玉があるんですが(出玉あり大当たり時)、釘の位置が1本違うだけで出玉も大きく変わってくるので、仕様の変更はゲージ担当にとっては大きな問題でした。ただ、100パターン以上の仕様提案から選抜された本作は、みんなの苦労が報われるものになったと思いますし、それを最大限活かすためのゲージ構成を確立できたと思っています。



プレイヤーを魅了する
オリジナルストーリーと多彩な演出

—最後に本作の魅力について聞かせてください。

上野 ●本作では世界中のお宝を盗み出すルパン一味と、それを横取りしようとする謎の傭兵集団の攻防がメインストーリーになっていて、大当たりが続けば続くほどルパン三世が次々と宝を盗んでいき、エンディングまでスリリングな展開を楽しむことができます。

村上 ●実はストーリーはスタッフみんなで考えたんですが、このときは楽しかったですね。実際に映像化する際にも、とてもやりがいがありました。

富岡 ●サーチライト役物やロング演出なども「どんなタイミングで、何秒間発動させれば盛り上がるのか」をアンケート集計

するなど、試行錯誤を重ねました。それだけに大当たり時だけでなく、通常時にもぜひ注目してほしいですね。
村上 ●思い返してみると、今回の開発段階で演出が一回で決まったことはなかったかもしれません。予告やリーチアクションなど、すべての部分で細かいこだわりをぎっしり詰め込んだつもりです。
亀井 ●もちろんゲージにもです(笑)。
上野 ●私も含めて、今回集まったスタッフは全員がかなりのルパン三世ファンなんです。だからこそときには衝突もありましたが、その分それぞれの思い入れやこだわりが随所に反映されているんじゃないかと思います。
富岡 ●プレイしていただいて、そのこだわりを感じてもらえればうれしいですね。ルパン一味のカッコ良さが堪能できるワールドリーチには、私達の情熱が込められていますよ(笑)。

遊技機事業

●売上高80,843百万円 ●営業利益24,636百万円

遊技機事業におきまして、パチンコ機は「戦国乙女2」、「南国育ちin沖縄」、「黄門ちゃま寿」等を発売し、販売台数187千台となりました。パチスロ機は「ぱちする黄門ちゃま 光れ!正義の印籠編!」、「不二子100億\$の女神」、「新・ドロンジョにおまかせ」等を発売し、販売台数78千台となりました。



南国育ちin沖縄



新・ドロンジョにおまかせ
©タツノコプロ・読売テレビ 2008

その他

●売上高1,048百万円
●営業利益229百万円

情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を行いました。

ゴルフ事業

●売上高13,228百万円 ●営業損失910百万円

ゴルフ事業におきましては、ヤフー株式会社との業務提携による新たなポイント・プログラムの導入や、予約システムならびにゴルフ場の基幹業務システムの刷新等の各種施策に着手し、今後の業績成長の礎を築きました。一方、業績面は、記録的な低温・降雪や週末の天候不順が続き、影響を受けることとなりました。

Pacific Golf Management オフィシャルウェブサイト



<http://pacificgolf.co.jp/>

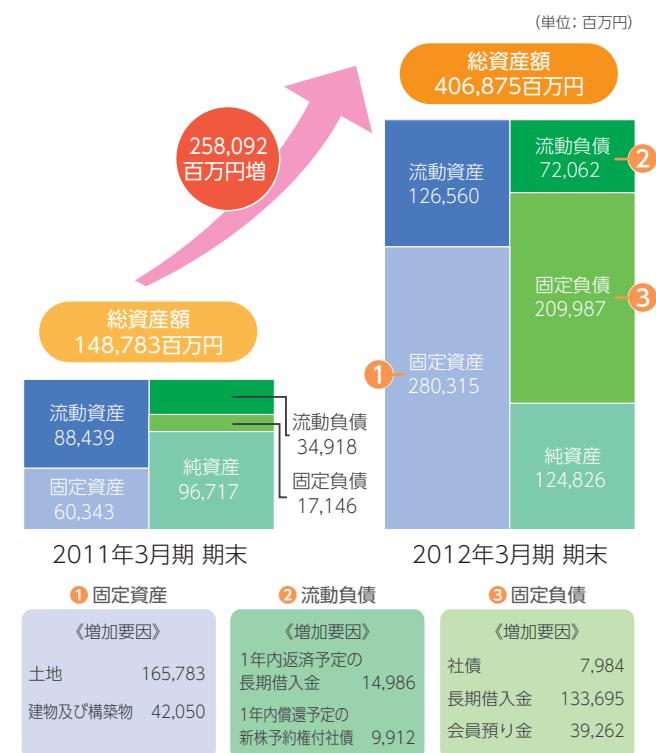
● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2011年3月期 (2011年3月31日現在)	2012年3月期 (2012年3月31日現在)
■ 資産の部		
流動資産	88,439	126,560
固定資産	60,343	280,315 ^①
有形固定資産	30,079	245,155
無形固定資産	85	3,854
投資その他の資産	30,178	31,305
資産合計	148,783	406,875
■ 負債の部		
流動負債	34,918	72,062 ^②
固定負債	17,146	209,987 ^③
負債合計	52,065	282,049
■ 純資産の部		
株主資本	96,338	111,834
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	53,063	53,074
利益剰余金	42,410	57,807
自己株式	△15,890	△15,802
その他の包括利益累計額	275	957
新株予約権	102	240
少数株主持分	-	11,793
純資産合計	96,717	124,826
負債純資産合計	148,783	406,875

当期中の企業活動及びPGMホールディングス(株)の子会社化により、当期末における総資産は前期末に比べ258,092百万円増加し、406,875百万円となりました。

負債は、主にPGMホールディングス株式の取得に伴う借入金の増加及び同社の負債を連結したことにより、前期末に比べ229,983百万円増加し、282,049百万円となりました。



● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2011年3月期 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)	2012年3月期 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)
売上高	85,880	95,120 ^④
売上原価	46,728	50,198
売上総利益	39,151	44,921
販売費及び一般管理費	23,875	24,180
営業利益	15,276	20,741 ^⑤
営業外収益	9,684	10,328
営業外費用	273	2,788
経常利益	24,687	28,282 ^⑥
特別利益	82	71
特別損失	447	200
税金等調整前当期純利益	24,323	28,152
法人税等	3,871	7,898
少数株主損益調整前当期純利益	20,451	20,253
少数株主損失(△)	-	△262
当期純利益	20,451	20,516

④ 売上高

売上高は、パチンコ機の販売が堅調に推移したものの、パチスロ機の販売が低調に推移したため、遊技機事業におきましては減収となりましたが、新たにゴルフ事業が加わったことにより、前期と比較して9,240百万円増収(10.8%増)の95,120百万円となりました。

⑤ 営業利益

営業利益は、販売費及び一般管理費においてゴルフ事業の追加による費用の増加があったものの、遊技機事業におきまして、リユースの促進及び部材調達コストの低減等の製造原価の圧縮により、前期と比較して5,464百万円増益(35.8%増)の20,741百万円となりました。

⑥ 経常利益

経常利益は、営業外収益として負ののれん償却額8,602百万円の計上や金融収益等の増加により28,282百万円となりました。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2011年3月期 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)	2012年3月期 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,405	13,029 ⑦
投資活動によるキャッシュ・フロー	396	△64,563 ⑧
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,366	45,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,435	△6,139
現金及び現金同等物の期首残高	38,971	42,406
現金及び現金同等物の期末残高	42,406	36,267

⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、13,029百万円のプラスとなりました。これは税金等調整前当期純利益28,152百万円、減価償却費3,963百万円となった一方、負のれん償却額8,602百万円、売上債権の増加3,380百万円、たな卸資産の増加5,624百万円、法人税等の支払額8,501百万円によるものであります。

⑧ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、64,563百万円のマイナスとなりました。これは主に有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入57,135百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出72,049百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出38,493百万円によるものであります。

● 連結株主資本等変動計算書 2012年3月期(2011年4月1日から2012年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の 包括利益 累計額	新株 予約権	少数 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
2011年4月1日 残高	16,755	53,063	42,410	△15,890	96,338	275	102	-	96,717
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△5,119		△5,119				△5,119
当期純利益			20,516		20,516				20,516
自己株式の取得				△0	△0				△0
自己株式の処分		10		88	99				99
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						681	137	11,793	12,612
連結会計年度中の変動額合計	-	10	15,396	88	15,495	681	137	11,793	28,108
2012年3月31日 残高	16,755	53,074	57,807	△15,802	111,834	957	240	11,793	124,826

(2012年3月31日現在)

■ 会社概要

商号 株式会社 平和
(英文社名:Heiwa Corporation)
本社 〒110-0015
東京都台東区東上野二丁目22番9号
URL <http://www.heiwanet.co.jp/>
創業 1949(昭和24)年
設立 1960(昭和35)年
資本金 167億5,500万円

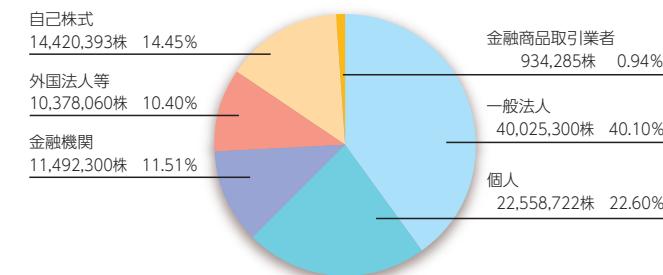
役員
(2012年6月28日現在)
代表取締役社長 嶺井 勝也
代表取締役副社長 諸見里 敏啓
取締役 吉野 敏男
取締役 池本 泰章
取締役 太田 裕
取締役 兼次 民喜
常勤監査役 川野 廣二
監査役 佐藤 武志
監査役 遠藤 明哲

事業内容 パチンコ機の開発・製造・販売
パチスロ機の開発・製造・販売
事業所 本社、工場(伊勢崎)、北海道、仙台、高崎、東京、
名古屋、大阪、広島、福岡 他20営業所
取引銀行 みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行

■ 株式の状況

発行可能株式総数 228,903,400株
発行済株式の総数 99,809,060株
株主数 12,890名

■ 株式の所有者別状況



■ 株価チャート(月足)

